

様式

技術名称	FRESH BANK工法	技術の分類	工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	2015年1月ごろ申請予定
会社名等	(株)フジタ	担当者	北島 明	連絡先	046-250-7095
技術の概要	「FRESH BANK工法」は、既設の海岸堤防を”粘り強い構造”にするために、強度、変形性、耐侵食性に優れた改良土である「砕・転圧土」で既設の堤防の表面を補強することにより、堤体本体を波浪や津波の越流による侵食から防護する機能を持たせたものです。	添付資料	パンフの有無	あり	
			その他の資料	発表論文	
技術の特徴	この「砕・転圧土」はダム湖内に堆積した底泥土(ヘドロ)をセメント系固化材により土質改良して築堤土を製造する工法で、すでにフィルダムやため池の改修工事実績を上げています。砕・転圧土は変形性能に優れ、既設の堤体となじみが良いため、地震発生時の既設堤防の耐震性が向上します。また、砕・転圧土の粘着力による耐侵食性能の向上により、津波越流時の堤体の侵食防止に大きな効果があります。このほか、既設の堤防の嵩上げなどでも一般的な盛土材を使用する場合と比較して急勾配に出来るので取得用地が少なく済むことや、港湾などの浚渫土砂を利用することにより築堤土の確保が容易などの利点があります。	その他	海岸堤防への適用実施例はまだありません。		